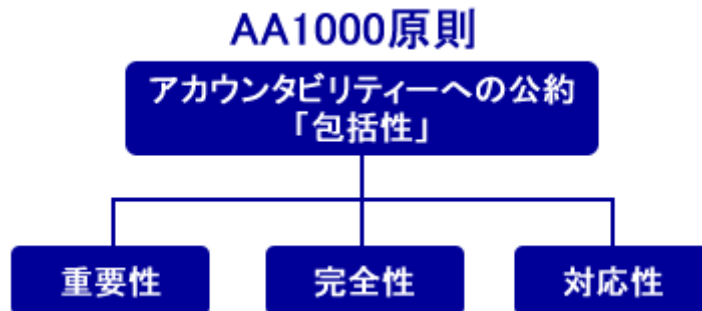


AA1000に基づくCSR報告書の評価プロセス

AA1000基本原則・保証基準



AA1000基本原則並びにAA1000保証基準は、英国のNPO AccountAbility(正式名称:The Institute of Social and Ethical Accountability)により開発された、組織の持続可能な発展をサポートするAA1000シリーズの一部です。

AA1000シリーズは、ステークホルダーへのアカウントビリティ(説明責任)を果たし、さらにその取り組みを向上させることを目的とした一連の原則・基準・指針です。詳細については、[AccountAbility社ホームページ](#)で公開されています。

AA1000基本原則は、組織がアカウントビリティを果たし、強化するための基本原則であり、3つの原則により構成されています。

当法人は、東芝のCSR報告書を評価するにあたり、AA1000基本原則を以下のように解釈して評価を実施しました。

- 重要性—ステークホルダーが必要とする重要な情報が記載されているか
- 完全性—重要事項に関連する情報を、必要な範囲で完全に把握しているか
- 対応性—ステークホルダーの関心・懸念に的確に対応し、開示しているか

当法人は、AA1000基本原則の視点から、以下の手続きによる評価と報告を実施しました。

実施した手続きの概要

1. CSRの推進方針及び体制の把握

- CSRを推進するCSR本部の上級管理者に質問するとともに、トップコミットメント・インタビューの場に同席し、東芝のCSRの推進方針を組織内に根付かせ運用するための目標・優先課題は何か、目標を達成するために計画している手段は何か、目標がどの程度達成されているか、及びこれらの事項についてどのように経営陣に報告され、経営陣がモニタリングしているかを理解しました。
- CSR報告書の作成について、作成の方針、専任部署／チームの有無と組織における位置づけ、作成メンバーの構成等を把握しました。

2. ステークホルダー・コミュニケーションのアプローチの評価

- CSR本部の上級管理者に質問し、東芝において、ステークホルダーのニーズを把握し、対応するためにとられているアプローチと記録状況を理解し、評価しました。
- CSR報告書の各記載項目について、作成責任者への質問及び関連資料の閲覧により、東芝がステークホルダーの懸念・関心に的確に対応し、その結果をCSR報告書に開示しているかを評価しました。

3. 報道資料の閲覧

- 東芝のCSRに関連する外部報道資料を閲覧し、CSR報告書の対象範囲と記載内容の適合性を評価しました。
4. CSR報告書に記載すべき重要事項等の決定プロセスの評価
 - CSR報告書制作チームの責任者への質問により、CSR報告書に記載すべき重要事項、記載対象の範囲、記載事項の測定方法に関する決定プロセスを理解し、評価しました。
 5. CSR報告書のデータ、陳述、言明に関する情報・説明の評価
 - CSR報告書の各記載項目について、作成責任者への質問と関連書類の閲覧により、記載すべき重要事項が、必要な範囲で完全に把握・測定されているかを評価しました。また、それらがCSR報告書に記載されているかを確認しました。
 6. GRIガイドライン(注1)の参照に関する評価
東芝が、参照したGRIガイドラインの各項目について、作成責任者に質問を実施し、以下の視点で評価しました。
 - GRIガイドラインが求める内容を記載しているか
 - 参照していないGRIガイドラインの主要指標について、参照しない旨の説明を記載しているか
 - GRIガイドラインの項目を示す対照表を記載しているか

注1) GRIガイドラインとは、国際的NGO GRI「Global Reporting Initiative」が公表する、経済・環境・社会の3分野から構成されるCSR報告書の作成ガイドラインです。

[東芝のGRIガイドライン対照表](#)

■ [CSR報告書に対する第三者所見へ戻る](#)